

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 13日

事業所名 アレグロ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		机上課題と運動課題で部屋を別に確保している	
	2	職員の配置数は適切である	5		適切な人数配置になるようにしている	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	3	階段を上り下りする際は支援者が危険のないようしっかり隣に立ち見守っている	子どもたちの様子を見ながら環境設定を行う
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		毎朝、空き時間等、床・トイレ・マット・玩具等清掃、消毒を行っている	感染症蔓延防止に努めできる限りの対策を講じて利用者様の健康を維持できるようにしていく
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		定例会や日々の記録で情報共有し話し合いをしている	目標を設定し、状況に合わせて話し合いを行っていく
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		保護者様アンケート結果を踏まえて意向や改善できることは直ちにおこなっている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5		第三者委員会の設置はしていないが他者からの意見を参考に業務改善を行っている
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		計画的に研修を置きおこなっている	市が主催する研修などにも参加できるよう努める
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		個々に合った課題に取り組んでいる。また、保護者との面談時間を設け、意向を聞き計画を作成して	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2		今後も作成したアセスメントツールを活用し利用者様の状況把握をしていく
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定さ	4	1	児発管が作成している	今後も児童発達支援ガイドラインに沿ったより具体的な支援計画をするよう務める

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		支援経過を確認し一人ひとりに合った支援を行っている	今後も支援計画の目標に沿った支援を積み重ねていき利用者様の発達を促して行く
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	個別療育のため個別支援計画の目標に合わせて行っている	個々の目標に合わせたプログラムの明確化に努める
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		記録を通して活動内容を変化させている。また、個々の特性に合う楽しんで取り組める課題の提供	様々な活動の提供が行えるように職員間で情報共有を行う
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4	1	個別療育の為集団活動を行っていないが、集団でも対応できるような支援計画を作成している	個別療育の為、集団活動を行うことができていない
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		朝礼・定例会で話し合っている	ハート職員で勤務時間が短い職員は朝のミーティングに参加できないが、出勤してきたら確認できるような体制を取っており、職員全員がその日の流れを理解している
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		翌日の朝礼や定例会、記録等で共有している	全職員での打ち合わせが難しい場合は正職員が必要事項を必ず伝達している
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		その日のつちに必ず記入しまとめている。毎日個別記録を取り、当日の様子や変化を知ることによって今後の支援・改善に繋	個別支援計画を目標に沿った記録も追加していく
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		目標を達成した時や、半年に1回は必ずモニタリング・評価・見直しを行っている	予定された期日までに、評価・見直しの会議を行う
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		児童発達支援管理者が出席している	可能な限り児童発達支援管理責任者が参加する
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	2	他施設の職員と情報共有し、よりよい支援につなげている	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		5	現在該当する利用児はいない	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		5	現在該当する利用児はいない	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	保護者の必要に応じて支援内容等の情報共有を図っている	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		保護者の必要に応じて支援内容等の情報共有を図っている	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		クリニックのOT・STから助言をいただき実践している	今後も積極的に他機関と連携を図る
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		5		現在出来ていない。交流ができるよう機会を設けていきたい
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		5		現在出来ていない。参加できるよう努めていく
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		日々の支援記録をメールにて伝えている。	今後も積極的に面談や連絡を取り保護者との共通理解を図っていく
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	2	3	ペアレントトレーニングは実施していないが保護者の要望があれば個別の面談を行よりよい対応の仕方や環境設定などの助言、提案を行っている	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		利用契約時、児童発達支援管理者より説明を行い同意を得て	今後も契約時に児童発達支援管理責任者より丁寧に説明していく
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得て定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		保護者様が同意したうえで療育を行っている	今後も丁寧な対応を心掛ける
	34 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		面談時や送迎時、必要に応じて助言・支援を行っている	今後も丁寧な対応を心掛ける
	35 定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	3	支援内容をその日のうちに伝えている。また、いつもと違う様子やケガ等あった際も伝えている	会報は発行していないが今後は個人情報に十分に配慮しながら可能な範囲で発信していきたいと考えている
	36 個人情報の取扱いに十分注意している	5		鍵付き書庫で保管している	今後も個人情報には十分配慮していく
	37 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		保護者の方とメールや電話で情報共有している	必要な時に必要な配慮を職員共有理解のもと行っていく
	38 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		現在は施設関係者のみであるが、今後は考えていきたい
	39 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1	避難訓練を実施したり、避難経路を確認したり緊急時を想定し取り組んでいる	保護者の方に周知できる方法を検討する
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			今後も定期的に必要な訓練を行っていく
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		契約前に保護者の方に聞き取りをしている。職員にも伝達し	今後も丁寧な聞き取りを行う
非常時等の対					

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた
応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			食事の提供を行っていない
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		職員間で共有できるようファイリングしている	ヒヤリハットがあった場合は即日記入し共有している。未然に防ぐためにも今後もヒヤリハットを作成していく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		社内研修を行い適切な対応ができるようにしている	外部研修等の情報収集を行い事業所内でも研修を続けていく
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		支援契約書・利用契約書に記載、契約時に説明を行い、保護者様との確認も出来ている。現在身体拘束が必要な利用児は	今後も保護者様に身体拘束について分かりやすい例を出しながら説明し理解を得られるよう努める

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。